

令和6年9月 マーケット・トレンド・レポート

国内政治の動向

9月27日、自民党総裁選で石破茂氏が選出され、10月1日に首相に指名されました。立憲民主党と公明党でもそれぞれ新しい代表が選ばれ、政治の話題が多く注目されました。10月末の衆議院選挙も控え、国内の政治情勢が大きく動いています。米国でもトランプ氏とハリス氏の支持率が拮抗しており、世界的に政治の転換期に入っています。

中東情勢の悪化

イスラエルとハマスの戦闘が1年を迎え、戦火はレバノンやイランに広がりを見せています。イスラエルは自国防衛として反撃を続け、長期化が予想されます。ロシア・ウクライナ関連の報道は減少していますが、中東情勢への注目が高まっています。

自然災害の頻発

9月21日、石川県能登地方で記録的な豪雨が発生し、甚大な被害が報告されました。フロリダや中国でも台風による被害が発生しており、災害の頻度と規模が増加しています。防災意識の強化が求められています。

食品不足と消費動向

「令和の米騒動」により、米やパックご飯が一時的に市場から消えましたが、徐々に供給は回復しつつあります。来年も同様の事態が起こる可能性があり、消費者の冷静な対応が求められています。

輸出規制の緩和

台湾が福島県産食品の輸入規制を緩和し、13年ぶりに日本食品の全輸入が解禁されました。中国も水産物輸入規制の緩和を進めており、これにより日本の輸出増加が期待されています。

企業動向

セブン&アイ HD は、カナダのコンビニ大手からの買収提案を拒否し、スーパー事業の売却を検討しています。不採算事業の売却とコンビニ事業への集中を進め、2026年までに33店舗を閉鎖する計画も発表しています。

スポーツの盛り上がり

大谷翔平選手の歴史的な活躍が注目を集め、50-50の記録達成はスポーツ界で大きな話題となりました。日本のプロ野球では巨人が優勝し、クライマックスシリーズや日本シリーズに向けた期待が高まっています。視聴者の観戦スタイルも変化し、BSや有料放送への移行が進んでいます。